

基礎調査

モンゴル国 エコトイレ導入による衛生環境改善事業にかかる基礎調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社エクセルシア
- 代表企業所在地：東京都世田谷区若林
- サイト：モンゴル国 ウランバートル市



モンゴル国の開発課題

- モンゴルではトイレが十分に普及しておらず、普及率は地方で29%、首都でも64%と極めて低い。ウランバートル市ではゲル地区の拡大・過密化が進み、水道/下水道が整備されておらず、地下水を飲料水としている同地区では、素掘りトイレによる水源・環境汚染が深刻な問題となっている。
- 1990年の民主化以降、観光振興を図っている一方、トイレの問題が浮き彫りになっている。公衆トイレの数も少なく、観光客はレストラン、ホテル、博物館の施設にある水洗トイレを利用しているのが現状である。

中小企業の製品・技術

特殊なタブレットにより排便を除菌・消臭・固形化し、水、電気、汲み取りを使わずに排泄物を処理する製品で、使用後は緑化資材としての再利用可能であることが特徴のエコトイレである。下水道の代替として衛生環境の改善に寄与するほか、新たな産業として注目されている観光業においても寄与することが期待される。

日本の中小企業の事業戦略

エクセルシアの事業戦略とするエコトイレ市場は、①観光地および観光ゲル②イベント(ナーダム祭)国際会議等③サマーハウスである。また、中期的に①ゲル地区のトイレ改善、②学校のトイレ改善、③病院でのトイレ改善、介護分野を見込んでおり、現地での薬剤生産を視野に入れた法人化を目指す。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- 開発効果1:【トイレによる水源・環境汚染の改善】下水道の代替として、水源・環境汚染の改善に資することが想定される。
- 開発効果2:【観光振興におけるトイレ問題の解決】観光地において、環境に配慮した衛生的なエコトイレの導入を進める事により、観光客が増加し、観光関連産業の発展が期待される。これによりモンゴル経済の発展に貢献する。